

はじめに、

これから『旅学』と題し、描くことは、2007年に約1年の時をかけ、自転車に乗って日本一周した実体験に基づく物語である。

これまで、多くの方から自転車での「日本一周」はどうだったと聞かれてきた。その問いに答えたい。それはまさに、**旅を通して学んだこと**である。

「日本一周」、これまで数多くの方が成し遂げてきたことであろう。同じ地上を通ったのは、私と同じだが、通過した「道」、出会った「人」、「滞在先」、「自然」、「光景」などは、まったく同じであることは決してない。

まず自転車で日本一周の「旅」をしようと決意した理由からお話ししたい。

- 自転車での移動はお金がかからないこと、適度な速度で景色が眺められること、旅路での人との出会いも多いこと、人力であるため、本当に行きたいところに向けて進みたかった
- 海外へ視線を向ける前に、日本とはどういう島国なのか、この自分の目で時間をかけて触れてみたかった、【百聞は一見にしかず】、
- World Wide Opportunities on Organic Farms (WWOOF) 通称「ウーフ」という団体のウーファー（会員）となり、日本全国の有機農家さん（ウーフホスト会員）とつながり、6時間程度、「農」をお手伝いしながら学ばせてもらう代わりに、その日の3食の食事と宿代を無償で提供していただく、お金のやり取りのない「農」の交流で、その地域にホスト側が受け入れてくださる期間は滞在でき、逆にウーファーも好きな時に移動もできる仕組み活用してみたかった
- サッカーJ1, J2, JFL、(当時 J3 はなかった)、Jチームがない県は、天皇杯に出場した47都道府県すべてのチームを見学し、サッカーお遍路をしたかった

主に上記の理由で旅し、各々のウーフホストに180日間ほど、残りの半年は移動中、テントでの野宿、台風や大雨の日は旅館にも滞在し、約70万円で、日本列島一周の自転車の旅が実現できた、2007年の虹色の一年で学んだことをこれからこの「旅学」で最初に投稿していく。